

自分らしく働ける場所

障がい者アクティビティ&トレーニングセンター
Social and Handicapcenter/Park Job and Aktivitetshus

レポート：久保克之

★あっという間に和やかな雰囲気

昨夜は雲一つない空にスーパームーンが輝き、夜中には月食もあったそうです。9月29日(火)今日も快晴の中、私たちは大きな専用バスに乗り障がい者アクティビティ&トレーニングセンターに到着しました。

「こんにちはは心から歓迎いたします。」センター長であるピーターは、椅子ではなくデスクに腰を掛けとてもフランクに話し出しました。

「皆さん本当に幸運な人たちですね、こんな遠いデンマークまで来て色んなことを学べるなんて、すごくラッキーですね。僕も日本に行けるといいな」と笑顔で言うピーターに、私たちは口々に「ぜひ!」と返し、会場はあっという間に和やかな雰囲気になりました。

このセンターは、身体障がいや発達障がい・精神障がいなどいろんな形の障がいを持っている方たちが集まってくるデイセンターです。



★人間的な尊厳を保つ

デンマークでも、通常65歳から年金が貰えますが、このような障がいを持たれた方たちが貰える年金もあります。

しかしその障がい者年金を貰いながら機能低下が軽い方は働くことができます。その機能を使って仕事をする事で社会的な役に立つとか、作り上げることに對しての喜び、そういうことで人間的な尊厳が保たれているのです。

ここソルゴーでは、そういった方たちのための作業所としての役割をしています。

★ハンディキャップのある人には

3つのモデルの働き方があります。

* 1つは、フレックスジョブです。

(ハンディが軽度)

例えば1週間の37時間労働の中で10時間仕事ができなかった場合、10×110krを自治体から給付金として受給され、労働した27時間の給料はその職の給料×27時間分を雇用者から賃金として貰います。

これにより自分の身体的機能に合わせた時間働くことが出来るのです。

* 2つ目は、給料援助(補助)の出る

仕事です。(中度)

労働時間は6時間から20時間の間、このモデルは1時間に30~60kr支給されます。それ以外に1か月15,000krの年金も受給しています。

自治体はこの30~60krの内、28krを雇

用者に支給するのです。

* 3つ目は、授産作業です。

(重度機能低下がみられる方)

ソルゴーの役割がこのモデルを支援することだということです。

1週間に2~30時間の決まりであるが、通常は27時間働かれます。

賃金は5~25kr、もちろん1か月15,000krの年金も受給されております。

この3つの機能低下に分けての働き方のうち上2つのモデルは企業で働いています。

企業が自治体より補助を受け入れる制度があるので、このように障がい者を雇用するということに繋がっているのです。

★可能性を見出し受け入れる体制

このようにデンマークでは障がい者の生活が手厚く守られているだけでなく、働くことを生きがいとしている人たちのハンディキャップを不利なものと考えず、可能性を見出し受け入れる体制が出来ているのだなと感じました。

それに対して日本のような法定雇用率を規定した障がい者雇用政策と就労支援事業だけでは、多くの障がい者の「働きたい」を叶えるのは難しいと思いました。

★ソルゴーのアクティビティ(授産作業)

ソルゴーでは、どの様なアクティビティ(授産作業)があるのか？

キッチンでの仕事や、野菜を作っている園芸所、陶芸・ガラス製品・絵画などのワークショップがあります。

それと、自閉症のグループもあります。彼らたちの作業はファイルを作ることでもキッチンと作成されます。

コーヒーを煎って袋に詰めるという作業もあり私たちも見学させていただきました。

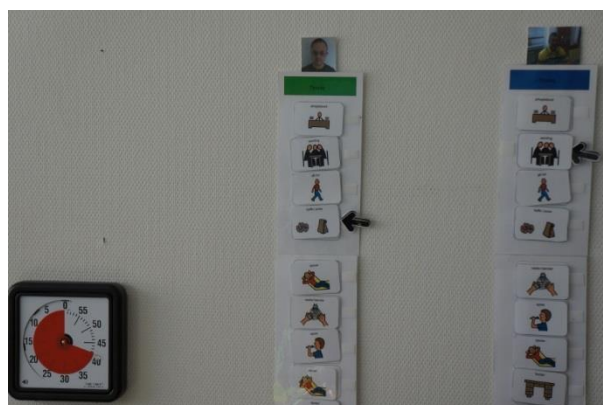
★スケジュールの可視化

自閉症の方たちは、一日の行動がスケジュールリングされているということが大切です。

作業室の壁に、利用者の写真の下へ作業やクラブ活動のスケジュールが「可視化」されており、今どの行動の段階か次は何をするかが分かるように矢印で表示されます。

作業は、ゆっくり行われており職員が主になって行うことはありません。

職員は作業員ではなく、あくまでも指導員なのです。



さらに、去年より2つのアクティビティを増やしたそうです。施設内外の清掃をするグループと、もう一つは、理学療法的なグループで1グループがもう1グループを教える、それを仕事としているそうです。

これは、視察メンバーである黒田夫人が、僕にぜひ学ばれたらと教えて下さったマディソンモデルにもあるように、当事者がサービス提供者となることなのではないでしょうか？

私の職場にもピアサポートという活動で当事者の方がリカバリーの過程をお手伝いしています。

そのようなことを連想していて、ふと何気な

い移動時の会話でも多くの学びがあったな
と思ひ出し、メンバーに心から感謝を伝えたい
と思ひました。

★印象深い思ひ出

見学の最後に、食堂で中能さんのマジック
ショーがあり、会場はとても多くの利用
者で満員となりました。作業中の方も手
を止め続々と集まります。

マジックは言葉が通じなくても人を夢
中にさせ、皆笑顔で心が通じた様
でした。

さようならと、ソルゴーを後にする私
たちに全ての方が手を振って下さり、
作業着でおどける利用者の姿は、充
実したデンマーク研修の中でも特に
印象深い思ひ出となりました。

